

| | | | |
|------|---------------------|-----|--------------------|
| 開催日時 | 令和 元年 12 月 12 日 (木) | 会 場 | 事務局会議室 15:00~17:00 |
|------|---------------------|-----|--------------------|

| | | |
|------------|---|--------------|
| 出席者 (○) | 担当副会長：○福田亮一 | オブザーバー：○寺坂良明 |
| | 委員 長：○千賀浩一 | |
| | 副委員 長：○山中信悟・×堀池恒史 | |
| | 委 員：○会田利知・×志村孝次・○永島優子・×赤川真理・○五十嵐摩利・ ○小林匠・×相馬立夫・×岩間幸司・○高野淳一・×高橋英二・○内田幸夫 | |

1. 議事録 千賀浩一

2. あいさつ 福田担当副会長

3. 報告事項

①理事会報告 (別途資料参照)

- ・定款施行細則の改訂により、専門委員会の立場が明確化される。
- ・木造専門委員会規定の承認がされる。
- ・前回委員会の活動報告をおこなった。

②来年度予算・事業計画書 (別途資料参照)

- ・11月25日に提出。

③限界耐力計算法講習会状況

- ・10月26日・11月30日の2回を終了。受講者26名。うち一般参加14名。

4. 予定議題

(1) 委員会の活動内容

①今年度後半 (令和2年) の具体的活動

- ・1月25日 限界耐力計算法講習会第3回。
一般参加者を会員にするため、本会の紹介を兼ねた挨拶を、最終日に担当副会長にお願いする。
- ・2月7日 業務支援委員会主催のバス見学会、業務支援委員長より共催の呼びかけがあり、お受けする。伝統建築物の見学について、木造専門委員会として協力できることを検討する。
- ・3月頃 茅ヶ崎市の幼稚園の見学会を企画。大型耐火木造建築物の見学会と講習会。

②来年度の活動について

- ・限界耐力計算法講習会の受講者を繋ぐ為にも入会を促す為にも、見学会・講習会を行う。
講習会は、受講者から提案もあった、現場での調査方法等の実務補助講座を予定。
- ・省エネに関する説明の義務化が行われるため、国交省の講習会に参加した会員から、神事協の会員の多くは個人事務所であり、このままでは大手ハウスメーカーに負けて、個人事務所の廃業が増えるのではとの懸念をいただいたとの感想をもらった。神事協としてサポート出来る方法を検討し、少人数による質疑応答が出来る講習会を企画する。
- ・木造耐火建築物、特に住宅から公民館程度の規模の建物について、被覆方法と費用等の調査・研究、講習会・見学会の企画。

③委員辞退者について

- ・以下の2名から委員辞退の申し出がありました。
ア. 岩間幸司氏 (藤沢支部) より、親の介護があり、委員会等に参加できないため。
イ. 志村孝次氏 (横浜支部) より、不動産業等で忙しく、委員会等への参加が難しいため。

④神奈川県木造住宅耐震改修実務セミナー講師派遣依頼について

- ・次年度の講師派遣について、木造専門委員会で検討を行う。

(2) その他

次回 委員会日程 令和2年1月16日 (木) 15:00~ 地下会議室

| | | | |
|--|--|-----|-------------------|
| 開催日時 | 令和 2 年 1 月 16 日 (木) | 会 場 | 地下会議室 15:00~17:00 |
| 出席者 (○) | 担当副会長: ○福田亮一 委員 長: ○千賀浩一 副委員 長: ○山中信悟・○堀池恒史 委 員: ○会田利知・○永島優子・○小林匠・○赤川真理 ○相馬立夫・○高野淳一・○内田幸夫 オブザーバー: | | |
| <p>1. 議事録 千賀浩一</p> <p>2. あいさつ 福田担当副会長</p> <p>3. 報告事項</p> <p>①理事会報告</p> <p>②大型準耐火木造建築物見学会、企画書</p> <p>③委員辞退者</p> <p>・岩間幸司・志村孝次・高橋英二・五十嵐摩利</p> <p>4. 予定議題</p> <p>(1) 委員会の活動内容</p> <p>①今年度後半(令和2年)の具体的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月25日 限界耐力計算法講習会第3回(受講者26名、再受講3名、一般(会員外14名)一般参加者の入会を勧めるため、講習会開始時に、担当副会長から挨拶と勧誘を行う。 ・2月7日 業務支援委員会主催のバス見学会へ、木造専門委員会として協力する。 ・3月中旬、大型準耐火木造建築物(平和学園こども園 1,300 m²平屋建て)の見学会と講習会を企画、日時及び案内書の内容、受講料や講師料について協議。 <p>②来年度の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限界耐力計算法講習会の受講者のサポート及び入会を促すために、実測講座を行う。場所は川崎民家園か三溪園を予定、また、実測講座の前講座として連続講習会の概論の講習会を行う。 ・会員に個人事務所が多く、小規模から中規模程度の木造建築物の設計に関わっている、その多くの会員をサポートできる方法を検討し技術や情報を提供する。また、会員外の若い人を取り込むために、木造建築物の基本的な部分の勉強会を行う。 ・省エネ法の改正に合わせ、賛助会とも連携し省エネ施設の見学会を、また、少人数による質疑応答が出来る講習会を企画する。 <p>④神奈川県木造住宅耐震改修実務セミナー講師派遣依頼について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の講師派遣について、1月27日に平塚で行われる講習会の内容を聞いて、新しい講師を選任する。 <p>(2) その他</p> <p>次回 委員会日程 令和2年3月3日(火) 15:00~ 会議室</p> | | | |